

1. 授業の概要(ねらい)

私たちの経済生活は、市場経済システムによって成り立っています。そして、市場経済システムは、競争によって機能しています。このため、市場経済システムを適切に機能させるためのルール＝競争法(独占禁止法)が必要とされます。みなさんは、今後、経済・ビジネス活動を行う上で、独占禁止法(競争法)上の問題に多く接することになるでしょう。講義では、このことを意識して、独占禁止法違反とされる具体的事例を通じて、実際の経済・ビジネスの場面で、どのような行為が問題となるか(その理由を含めて)を考えるようにします。

2. 授業の到達目標

本講義は、独占禁止法について、「法学の各分野における基本的な知識を応用し、法律の専門的立場から、新しい法現象について、その問題点を的確に把握し、問題解決のための提言を行うことができる」ようになることを目標とします。

特に、受講者が競争の意義、競争ルールの必要性・内容をおおよそ理解できること、個別事例の問題点とその理由を説明できるようになることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に試験結果(80%)、レポート提出・発表等(20%)に基づき評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

泉水文雄 『経済法入門』 有斐閣

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを事前配布・LMS掲載するので、当該レジメを事前に読んでください。
レジメに記載された課題についてはレポート作成・提出した上、適宜指名を受けた学生が発表することとします。
なお、経済活動に係る新聞記事等を日常的に読むように努めてください。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語を厳禁としています。

7. 授業内容

- 【第1回】 市場経済システムとは:その内容・働きを知ろう。
ー私たちの経済活動はどのように成立しているだろうかー
- 【第2回】 市場経済システム＝競争のメリットを初歩的な経済学で考えよう。
市場経済を維持するルール(所有権・契約・競争ルール)の必要性を知ろう。
- 【第3回】 価格カルテルとは何か?その弊害は何か(価格カルテルは良い/悪い)?
独占禁止法は、価格カルテルをどのように規制しているだろうか?
- 【第4回】 入札談合とは何か?その弊害は何か(入札談合は良い/悪い)?
独占禁止法は、入札談合をどのように規制しているだろうか?
- 【第5回】 бойкотとは何か?その弊害は何か?
独占禁止法は、бойкотをどのように規制しているだろうか?
共同生産等の業務提携は、問題となるだろうか?
- 【第6回】 「A社の商品は、どこの店でも同じ値段だぞ」
再販売価格維持は、競争の観点から弊害があるか?
独占禁止法は、再販売価格維持をどのように規制しているだろうか?
- 【第7回】 メーカーがネット販売を制限したら、独占禁止法の問題となるだろうか?
ネット販売制限事例を検討しよう。
- 【第8回】 メーカーによる販売店等に対するコントロールを考えよう。
取引の経済理論と競争ルールの関係を考えよう。
- 【第9回】 「よそ者を市場に入れるな」 市場閉鎖は、競争の観点から弊害があるか?
独占禁止法は、市場閉鎖をどのように規制しているだろうか?
- 【第10回】 市場閉鎖とは(続)
「プラットフォームが独禁法違反の疑いで調査されたけど、これってどういう問題なの?」
- 【第11回】 「安売りが独禁法違反なの?」・・・略奪的価格設定の弊害は何か?
独占禁止法は、略奪的価格設定をどのように規制しているか?
- 【第12回】 (復習)これまでの独禁法禁止行為を改めて体系的に整理し直そう。
- 【第13回】 いくつかの設例について、独禁法違反といえるか否かを議論しよう。
企業の法務部員・公取委審査官になったつもりで考えよう。
- 【第14回】 前回と同様
- 【第15回】 まとめと試験